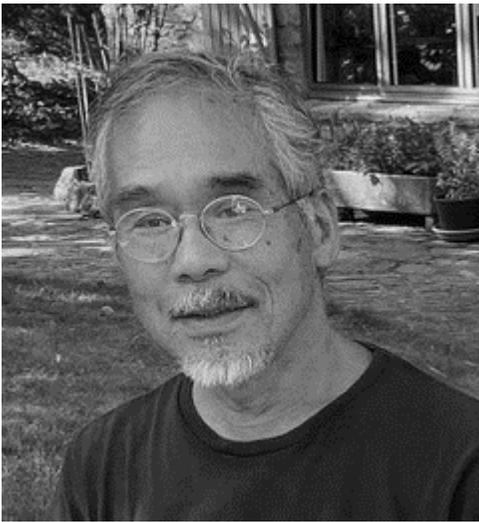


高木学校月例勉強会 コリン・コバヤシさんに聞く

「核・原子力大国フランスと国際原子力ロビー」

日本では、原発大回帰政策とともに汚染水海洋投棄が強行され、汚染土の拡散や避難の権利、甲状腺がんの問題が続いています。世界の注目もある中で、原発大国フランスや国際組織の動向が気になります。事情に詳しいコリンさんに高木学校メンバーからの質問を踏まえる形でご講演をお願いいたしました。以下出された質問です。



- ◆フランスにおける一般市民の核・原子力問題の認識は？教育、マスコミの報道姿勢、原発稼働率の低下問題、原子カムラとの戦い方
- ◆核兵器保有国として国民は核で守られると信じているのか
- ◆福島ダイアログ(旧福島エートス)と国際組織の諸問題
- ◆脱原発活動とアートとの関係、アーティストの視点と相互作用があるか

主催：高木学校

日時：2023年 10月 15日（日）16:00～18:00

定員：90名

- ・オンライン会議システム Zoom を使用したオンライン講座です
- ・講演は録画して後日公開予定です

お申込み：高木学校ホームページ(<http://takasas.main.jp>)

下記URL、または、QRコードより「参加申込みフォーム」からお申込みください。

<https://forms.gle/gy3arXTbpqwuYNju5>

折り返し、事務局より参加用の URL 等をメールでお送りします。

参加費：無料、カンパ大歓迎〈送金先〉郵便振替 00150-8-28425

(ゆうちょ銀行 019 店 当座 口座番号 0028425) 加入者名 高木学校



【コリン・コバヤシさんプロフィール】

1949年東京生まれ。団塊世代として70年安保を体験、同年夏にフランスに渡航、以後、現在に至るまでフランスに定住。造形美術を出発点として活動を開始、80年代後半から並行してジャーナリズム、翻訳、著述業。

70年代後半から反核運動に関心を持ち、86年のチェルノブイリによって人生観が変わる。以後、反戦運動、反差別運動、マイノリティ支援運動など社会運動に関与し、イラクの人質事件では、持っているネットワークをフルに活用して彼らの救援に奔走。2011年、福島事故では、福島からの情報を毎日、フランスの反核運動に拡散、チェルノブイリの10年後から現地で行われたエートス計画に関心を持ち、この件を取材していたジャーナリスト、ウラディーミル・チェルトコフや医師のミシェル・フェルネ(日本ではフェルネックスと紹介された)に出会い、チェルトコフのドキュメンタリー『真実はどこに?』(原題・核論争)の日本語字幕版を仲間達と制作。YouTubeに監督の許可を得て無料で放映する。また同時にフェルネ医師の日本巡回講演を企画・組織する。2013年『国際原子力ロビーの犯罪 チェルノブイリから福島まで』(以文社)を出版して、福島のエートスに警告を鳴らす。また2016年東京での反核世界社会フォーラムをシコ・ウィタカーと提唱、チェルトコフの日本巡回講演に同行通訳。翌年のパリ大会の実現に奔走。2017-18年2度にわたる元首相菅直人氏のフランス巡回講演と映画『太陽の蓋』上映を企画、実現。またフランス各地で福島についての講演を行なっている。他方、パレスチナ支援運動に関与、2001-2004年とパレスチナ訪問。ゲランド塩、パレスチナ・オリーブオイルの日本の生協ルートへの輸入による現地の生産者支援のきっかけを作った。著書に『ゲランドの塩物語』(岩波新書 2001年)『市民のアソシエーション』(作品社、編・共著 2003)『国際原子力ロビーの犯罪 -チェルノブイリから福島まで』(以文社、2013)、訳書に『68年5月』(インスクリプト社、2015)など。

高木学校事務局

〒164-0011 東京都中野区中央 2-48-4 小倉ビル 1F 原子力資料情報室内

TEL : 03-6821-3315 FAX : 03-5358-9791

メール : takasas@ja.main.jp

ホームページ : <http://takasas.main.jp>

ブログ : <http://blog.takasas.main.jp/>

※お問い合わせは、メールにてお願いします。